

DVD解説

【テーマ：同和問題】

題 名	保管	概 要
あなたに伝えたいこと	人権 36分 2014	同和問題は日本の歴史の中で作られたわが国特有の人権問題です。今なおさまざまな課題が残されています。近年インターネットの利便性ととも、誤った理解による差別的な書き込みがあります。この作品の主人公は、ごく普通の若い女性です。彼女の結婚話を中心に、恋人や友人、家族などのかかわりを通して同和問題が他人事ではないこと、自分の祖母や母がづらい思いをしてきたことを知ります。ネット上の情報だけでなく実際に人とふれあう中で、お互いを正しく知り合うことが同和問題やすべての差別をなくしていくために重要であることを学びます。
imagination 想う つながる 一歩ふみだす	人権 34分 2015	ラジオ局で番組パーソナリティを務めるサヤカの元には、今夜もリスナーからの相談の便りが届きます。現代社会に悩む様々な人々が番組を軸に心を通わせ、明日へとつながる一歩を見つけていくドラマ教材です。 【収録テーマ】 ・いじめをなくすのはアナタ（子どもの人権） ・「関わらないのが一番」それ本当？（同和問題） ・見えにくいから知ってほしい、発達しょうがいのこと（しょうがい者の人権）
今そこにいる人と、 しっかりと出会う	人権 24分 2020	同和問題はわが国固有の人権問題であり、日本の長い歴史の発展の中で形作られた身分差別によって、形成されたものです。生まれた場所や住んでいる場所だけで偏見をもたれ、差別されるという理不尽な差別といえます。いま、現代社会でもさまざまな差別の問題が起こっています。本作では、同和問題について理解を深めていただくと同時に、同和問題をモチーフに、人と人がしっかりと出会い、差別とどう向き合っていくかについてのヒントになる作品となるように構成しました。ドラマ形式で描いていますので、登場人物の気持ちに寄り添って視聴することができます。
声を聞かせて (アニメ)	虎姫 40分 2009	携帯電話は、もはや単なる『電話機』ではありません。メールやインターネットなど様々な機能を持つようになり、大人も含めて「ケータイがないと不安」な『携帯依存症』をつくり出しています。ケータイを子どもが持つということはどういう環境に子どもたちを置くことを意味するのか。私たちはこの現実とどう向き合っていけばよいのか、一緒に考えてみませんか。この映画では、インターネット上の差別的な書き込みなど、今なお差別意識が残っている『同和問題』についても取り上げています。
人権アーカイブシリーズ 1. 同和問題 ～過去からの証言・ 未来への提言～ 2. 同和問題 未来に向けて	人権 61分 19分 2014	「同和問題～過去からの証言・未来への提言～」は、人権教育・啓発担当者向け、また「同和問題 未来に向けて」は、一般市民向けの人権啓発教材として作成されています。（平成26年度法務省委託 人権啓発教材） 1. 同和問題 ～過去からの証言、未来への提言～（61分） 同和問題に関する基本的な知識、歴史的経緯、そして問題の本質について、学識者や行政担当者、当事者のインタビューを軸に解説しています。 2. 同和問題 未来に向けて（19分） 同和問題と結婚差別をテーマとしたドラマです。奈々子と公平は、結婚を前提に交際していましたが、公平の出身地には同和地区が多いと知った両親の反応から、奈々子は同和問題に対して真剣に向き合い始めます。

DVD解説

【テーマ：同和問題】

題 名	保 管	概 要
そんなの気にしない —同和問題—	人権 17分 2017	この作品は、2人の友だち同士が主人公です。タイトルの「そんなの気にしない」は、親友に自分が同和地区出身だということを告白した時に返ってきた言葉です。告白したほうは、相手にもっと知って欲しかった。告白されたほうは相手が、そのままの相手でも何も変わらないことを伝えたかった。しかしその一言がきっかけで2人はすれ違っていきます。プラスのイメージをもっていることに、人は「気にしない」とは言いません。普段何気なく使う言葉や態度のなかには、相手を傷つけるものがあるかもしれないことに気づかされます。そして壁を乗り越えるのもまた相手を信じる力だということを作品で伝えています。
大切なひと	人権 34分 2024	インターネット上の一部の情報が、誤った認識や差別意識を助長すること、表現の自由を逸脱した許されない行為であると感じる大切さ、差別されている当事者が訴え続けるという負担を強いる社会構造の実態について理解するとともに、差別のない社会、誰もが一人の人間として尊重される社会の実現をめざすことを目的とした人権啓発ドラマです。
日常の人権Ⅱ ～気づきから行動へ～	人権 23分 2009	日常生活の中でいつの間にか身につけてしまった差別や偏見。今一度それを見直してみませんか。人が人として大切にされる権利、人権を考えることなくよりよい社会を作ることではできません。人権感覚に疎い人の言葉や態度が差別を生みます。そして人権を侵害されて苦しんでいる人の心の痛みを分かろうとしないことで、新たな人権侵害が起こります。まず身近な問題から人権について考える作品です。 この作品は「外国人の人権」「しょうがい者の人権」「部落差別」「インターネットでの人権侵害」についてドラマとドキュメンタリーにより構成されています。まず、ドラマパートでテーマごとに、日常にある偏見について気づきを促します。そして、どのような考え方や行動が、偏見をなくし、ともに生きるよりよい社会へ変えていけるかを考えていくきっかけになる作品です。
光射す空へ (アニメ)	人権 32分 2016	同和地区・被差別部落と呼ばれる地区の出身者や住民に対する差別、性同一性障害や性的指向における少数派の人々、若年性認知症と診断された人々に対する誤解や偏見など、人権課題はさまざまです。 この作品では、大学生の主人公が家庭や、学校生活を通じて「正しい知識と理解」「多様性の受容と尊重」の大切さをわかりやすく描いている大人向けアニメーションです。誰もが人権を尊重され自分らしく生きていける社会について考えていく作品です。
「部落の心を伝えたい」 ビデオシリーズ 第32巻 ネット差別を許すな！！ ～川口 泰司～	商工 28分 2019	今、ネット空間を主戦場に部落差別が展開。差別情報の拡散、「部落地名総鑑」公開など、「ネットを悪用した部落差別」の現実を解説。何が問題で、どう解決するのか、道筋を示します。 <ul style="list-style-type: none"> ・形を変えた部落差別 ネット上で部落／部落出身者が晒される。無法地帯化するネット上の差別の現実を差別ハガキを送られた当事者自らが語ります。 ・「寝た子」はネットで起こされる 無知・無理解。無関心な人ほど危ない！ネット社会の危険性と構造を解き明かし、行政、企業、個人でのネット対策を提起します。 ・ピーカーの泥 人間の心の奥底にある偏見、差別。「ピーカーの底に沈殿した泥」に例え取り除く人権教育の必要性を訴えます。

DVD解説

【テーマ：同和問題】

題名	保管	概要
「部落の心を伝えたい」 ビデオシリーズ 第33巻 12年後の決断 ～吉岡 綾～	人権 28分 2021	「私の喋り方、イントネーション、ヘンでしょ？出身を隠したかったからなんです。部落差別の恐怖は、物言いまで変えてしてしまった」 「これまで部落差別体験は4度あります。21歳のときの話は必ずします。今の自分があるのは、その体験があったからです」 「人権問題を他人事じゃなく自分事として捉え、子どもたちにも伝えてくれたら有り難いです。私の差別体験も意味があったのかなと…」 第12巻「若い力は今」から12年。その間、綾さんは結婚し、生活環境も激変しました。二人のこどもに部落についてどう伝えるべきか、母としての不安、揺れ動く気持ちを赤裸々に語る。心を蝕むリアルな部落差別が、ここにあります。
「部落の心を伝えたい」 ビデオシリーズ 番外編 つなぐ×なくす ～岡本 工介～	人権 商工 25分 2020	グローバル（世界とつながる）＋ローカル（地域にこだわる）岡本氏は、グローバルな生き方で人権問題と向き合う。アメリカに於ける先住民や黒人への差別、日本に於ける部落差別や障がい者差別、それらの過酷な現実を体験する中で、掴み取った独自の具体的実践の数々。 父が代表理事を務めるタウンスペースWAKWAKの事務局長として大阪北部地震後の地元同和地区の再生事業にも取り組む。同地区には日本各地はもとより海外からも多くの人々がフィールドワークに訪れるようになりました。 「つなぐ」から「なくす」、そして「共に生きる」へ。 確かなビジョンを抱きエネルギーに活動する今を、原体験である13年前の北米縦断1万キロの映像も交えて描いた作品です。
私の中の差別意識 部落差別問題から考える	人権 24分 2011	この作品では、ドキュメンタリーを通し、差別された人々の心の痛みを伝えつつ、どうすれば差別がなくなるのか考えるきっかけを提供します。そして、自らの差別意識に気づき、正しい知識や判断力を持つことの大切さを伝えます。 パート1 現代の部落差別の特徴のひとつは、インターネットでの悪質な書き込みなど、差別問題が見えにくくなっているということです。 それゆえ、人々は差別問題に関して無関心になりつつあります。差別とは何か、考えてみましょう。 パート2 差別について深く考えず偏見を持ち続ける人々と、結婚差別に苦しむ女性のインタビューを通して、なぜ差別は残るのか考えてみましょう。 パート3 人権啓発に取り組む人々からの語りかけを通じ、あなたの中にある差別・偏見について考えてみましょう。

借用の申し込みは、
各保管場所へお願いします。

